



# おおくす



校長 市川 善浩

## 各学年、食育を行っています

本校栄養教諭である北川晶子先生による食育が始まっています。各学年の様子をお伝えさせていただきます。

### 4年生 ~『給食でのゴミを減らそう-食べ残しを減らすには-』~



まず、給食でのゴミにはどのようなものがあるのか学びました。調理前、調理中、食事中、片づけ等の場面を想像してどのようなゴミが出るのか考えました。牛乳パック、ストロー、野菜くず、ペットボトル、びん、缶、ダンボール、紙パック、ポリ袋、食べ残し等が出ることを知りました。そこで、食べ残しを減らすことは、自分たちにもできることなので、みんなでできることを考えました。「食べる時間を確保するために準備を慎重かつ素早くする」「好き嫌いせず食べる」「一口でもいいので増量できるものは増やす」「片づけの時、食器がきれいかどうか確認する」などの意見が出ました。「この日の給食から実行していこう」とみんなで確認していました。また、残食を減らすことはゴミを減らすとともに調理員さんへの感謝の気持ちを伝えることになることも学ぶことができました。

・今日の学習で、いつもより給食ロスをへらそうというきもちが大きくなりました。そして、しせいをよくすることでこぼれなくなって食品ロスがなくなるということもわかりました。これからはお皿はきれいにしてからかえしてのこさずたべていきたいと思いました。

・今日ははやくよいをしたからぜんぶたべれました。ゴーヤがきらいだけど、がんばって食べたらいがいというよりは、あじがにがてだったけど、いがいとすきになりました。いろいろまなんだからへらすにしろ一つにしようともくひょうが一つできました。ぜんぶのこさずたべれるようにがんばります。

・ちょうりいんさんは、お皿に食べのこしがあったらこまるからなくそうと思った。すぐおわってじゅんぴすれば、食べる時間も長くなるし、へらさなくてもまだ時間があるからへらさずにすむ。すききらいなく食べると、えいようがとれるからどれもへらさず、すききらいしないようにしようと思った

# A L S O K さんによる防犯教室

ねんせい か げんめ ねんせい か か げんめ  
 1年生 [7/9(火)4限目] 2年生 [7/2日(火)2限目]

1、2年生では、『いか・の・お・す・し』について教えていただきました。

いか…知らない人についていかない。 の…知らない人の車にのらない。  
 お…身の危険を感じたらおお声を出す。 す…すぐに逃げる。  
 し…何かあったらすぐに近くの大人にしらせる。

これらのことをお話しや寸劇、体験活動を通して大切なことであると学ぶことができました。



最後に質問や感想を発表する時には、  
 「いざという時に大きな声が出せるよう、  
 日頃からあいさつなど大きな声でしたい  
 と思います。」という感想がありました。  
 今日学んだことは、忘れないでください。



ねんせい か げんめ ねんせい か げんめ  
 3年生 [7/2(火)3・4限目] 4年生 [7/9(火)2・3限目]

3、4年生は、“留守番”について、防犯上の気を付けることを教えていただきました。まず、  
 学校などから帰って一人で留守番をしなくてはならない場合には、家に入る前からが大切である  
 と学びました。家に入る前に気を付けることは、『い・い・ゆ・だ・な』だそうです。

い…いへのカギを見せない。  
 い…いへの周りをよく見る。  
 ゆ…ゆうびんポストをチェックする。  
 だ…だれもいないけど“ただいま”と言う。  
 な…なかに入ってすぐ戸締りをする



家に入るまでにはこれらのことを気を付けることが大切です。家に入れば、来客があってもむ  
 やみに玄関のドアを開けないことが大切です。また、留守番中に大きな地震が発生した場合の  
 避難する場所や行動等、日頃から家族の方としっかり話しておきましょうと言われていました。  
 また、「災害用伝言ダイヤル171」の使用の仕方なども学ぶことができました。

## 着衣泳講習会を行いました ~6年生~



6年生は水泳授業の一環として、今年度も鈴鹿  
 消防署の方をお招きして「着衣泳講習会」を実施しま  
 した。この日は、着衣のまま靴を履いて入水しました。  
 まず、水中歩行をし、着衣の状態での抵抗感を体験し  
 ました。次にあおむけで浮く背浮きを教えていただきました。最後にペットボトルを抱えて背浮  
 きの練習をしました。今後、あつてはいけませんが、もしもの時には、背浮きが役立つので忘  
 れないでほしいです。また、おぼれている人を見つけたら、大人に知らせることとペットボトル  
 など浮くものを投げて要救助者に届けることが大切です。